



まちの



**くねっぶたれ
カツ井を販売**

5月13日から15日の3日間、札幌ドームで北海道179市町村応援大使企画であるグルメイベント「第7回なまらうまいっしょ」が開催され、訓子府町からは「カフエ茶屋の「くねっぶたれカツ井」が出店されました。商工会の青年部員と職員や役員職員が対応し、約1,500食を販売しました。

札幌ドームでなまらうまいっしょ！グランプリ開催



ゴールをめざし、がんばりました

ロードレース



春のロードレース大会が5月21日に開かれ、幼児から大人まで308人が参加しました。この日は、5月ではめずらしい真夏日となる炎天下、参加した子どもたちは、元気いっぱいゴールをめざしました。

【お詫びと訂正】
広報くねっぶ5月号に掲載しました「農業担い手カッパル激励会」の記事中、「谷本茂樹会長」とあるのは、「清井敏行会長」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



開基120年記念事業 少年野球教室を開催

4月23日に開基120年記念事業の一環として、北海道日本ハムファイターズのOBによる少年野球教室が開催されました。講師は、元北海道日本ハムファイターズの立石尚行さんと池田剛基さん。教室には、訓子府K1球友と訓中野球部が参加し、投球やバッティングなどを学びました。

わだい



開拓記念日のつどいで 町の発展を誓う



開基百年記念碑前

旗幟碑前

開拓記念日のつどいが5月9日、居武士小学校校庭にある旗幟碑前と中央公園内の開基百年記念碑前で開かれました。

旗幟碑前と開基百年記念碑前でそれぞれ児童を代表して竹本星太さん(居小6年)と横山心映さん(訓小6年)が「住みやすい町にするためにみんなで力を合わせていきます」と誓いの言葉を述べました。

明治30年5月8日に高知県の北光社移民団が現在の太谷地区に開拓に入ったことから、先人の労苦に感謝し、新たな発展を願い、毎年この時期につどいを開催しています。

訓子府小学校の遠足が5月13日に行われました。この日は好天に恵まれ、子どもたちは目的地めざして、楽しく元気に歩いていました。

目的地のレクリエーション公園などでは、鬼ごっこなどをして遊んだり、お弁当を食べたりして、楽しい一日を過ごしていました。



たのしいな、
遠足



大型連休中の4月29日、子どもまつりと古本市が公民館で開かれたほか、温水プール「KAPPA」もオープンしました。特に、温水プールは5月3日から5日までの3日間無料開放され、大勢の家族連れが詰めかけました。

子どもまつりでは、遊びのコーナーや「ポップコーン」の無料配布コーナーが設けられ、子どもたちは、笑顔で思う存分に楽しんでいました。同時開催した古本市では、3,500冊が並べられ、子どもから大人まで大勢の人が詰めかけ、さまざまな種類の古本を買い求めていました。

訓中学生会 熊本地震に 募金活動

4月25日から28日の4日間、訓子府中学校玄関前で、4月14日に発生した熊本地震に対しての募金活動が、生徒会によって行われました。

「熊本地震で困っている方の手助けになればいいですね」と生徒会長の小野紘さんが話していました。

温水プール「KAPPA」



古本市



元気よく、目的地へ

連休、家族連れなどにぎわう